

中学3年4組 英語科学習指導案

その時の場面や状況から現在完了形を使うべきかどうかを考えさせ、自分の表現の幅を広げるような学び合いをさせたことは、思考力・判断力・表現力を高め合うことに有効であったか

- 1 単元名 Unit 3 Our Sister in Nepal (New Horizon English Course 3)
～現在完了形を極めよう！～

2 授業の構想

(2)本単元は現在完了形の経験・完了用法や不定詞の形容詞的用法と原因を表す副詞的用法を学習しながら絵画やマイクたちの通う若葉中学校が作成したバザーのお知らせやその目的を説明したパンフレットを読み、ネパールの子どもの家庭・学校生活の一端を知り、日本とは全く事情が異なる海外の多くの子どもたちへの理解を深めるような場面設定になっている。現在完了形については前単元で継続用法が出てきており、残りの2つの用法が加わることで、自分たちが表現できる幅が今まで以上に大きく広がる。そして、不定詞については2年生時に名詞的用法と副詞的用法をすでに学習しており、「to + 動詞の原形」を想起させながら新しい用法に慣れさせていきたい。

本時は現在完了形のまとめとして1時間設定した。それは、現在完了形が英語圏の国々ではよく使われるのにもかかわらず、中学3年生にとっては現在形や過去形との違いが分かりにくく、最も理解しづらい言語材料のひとつであるからである。ペア活動やグループ活動での学び合いを通して、現在完了形の多くの表現に触れ、現在形や過去形との違いを再確認する(思考力・判断力・表現力の育成)とともにイメージとしても理解できるようにしたい。

(3)本単元の言語材料は現在完了形の継続・経験・完了用法と不定詞の形容詞的用法と原因を表す副詞的用法である。不定詞については2年生で名詞的用法と形容詞的用法をすでに学習しているので、文の作り方をもう一度再確認し、新たな例文から今までとは違う用法があるということに気づかせたい。そして、文型練習を何度も繰り返し、基礎的な部分の定着を図っていききたい。現在完了形については、まず、過去形や現在形との違いをイメージとしてとらえることができるように、ペアやグループで例文の意味の違いを話しあわせ、理解を深められるようにしたい。そして、いろいろな例文に触れさせたり、ペアで1分間チャットを行ったりして、その定着を図っていききたい。

本時はまず現在完了形の文型練習を行い、文の形をしっかりと思い出させることから始め、現在完了

形を使ったペア活動でさらなる定着を図りたい。ここでは1分間チャットといって、1分間自由にペアで会話を行う。話すテーマはこちらが指定し、現在完了形を多く使って話せるようにしてある。そして、話して終わりではなく、後で自分たちの会話を思い出しながら、ワークシートに書かせ、客観的に自分たちの会話を振り返らせたり、数ペアに全体の前でそのチャットを披露させたい。この時に、上手な文の使い方やアドバイスを紹介し、クラス全体での学び合いに広げていきたい。そして、最後にグループでダイアログのセリフを考えさせる活動を行う。どんな文法事項を使い、どんなセリフがこの場面では一番ふさわしいのか、過去形がいいのか、現在完了形を使った方がいいのか等を話し合わせ、発表させたい。思考→判断→表現の流れをグループで行うことによって、現在完了形の理解を深めさせていきたい。

3 展開計画（全8時間 本時6／8）

次	主な学習活動・内容	時	具体的な学習活動	英語科における思考力・判断力・表現力の評価の観点
1	現在完了形の経験用法と完了用法を理解しよう。	1 2 3 4 5	<ul style="list-style-type: none"> ・現在完了形の経験用法や完了用法の意味や運用について理解する。 ・現在完了形でいろいろな文を作る練習をする。 ・現在完了形を用いて会話練習をする。(1分間チャット) ・フォスタープログラムのポスターやマイクと絵美の会話の内容を確認する。 	現在完了形の経験・完了用法を用いて、自分の考えを相手に伝えようとしている。
2	現在完了形を極めよう！	⑥	<ul style="list-style-type: none"> ・過去形と現在完了形との比較やグループでスキットづくりを行う。 	現在完了形を用いて自分の考えを相手に伝えたり、学び合いを通して、自分の表現の幅を広げようとしている。
3	不定詞の形容詞的用法と原因を表す副詞的用法を理解しよう。	7 8	<ul style="list-style-type: none"> ・不定詞について用法を理解する。 ・不定詞を使って文を作る練習をする。 ・不定詞を用いて会話練習をする。(1分間チャット) ・バザーのパンフレットやミーナからの手紙の内容を確認する。 	不定詞を用いて自分の考えを相手に伝えようとしている。

4 本時の学習

- (1) ねらい 現在完了形を適切に使いながら相手に自分の考えなどを伝えることができ、学び合いを通して自分の表現を豊かにすることができる。
- (2) 展開

学習場面と子どもの取り組み	教師の支援と願い・評価
1. 発声練習 現在完了形についてドリルを使って簡単な復習をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ドリルで個人練習をさせながら、きちんとできているかどうか確認していく。

<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">現在完了形を使って相手に自分の考えなどを伝えよう。また、友達から多くの使える表現を手に入れよう</p> <p>2. 1分間チャット</p> <p>①ペアで表現練習をする。</p> <p>②ペアで現在完了形を使って会話を行う。</p> <p>③会話を思い出して、プリントに書く。</p> <p>④全体に数ペアが披露する。</p> <p>3. スピーチ活動</p> <p>司会者とスピーカーは前に出る。</p> <p>質疑応答を行う。</p>	<p>・時間的な制約を与え、日本語から英語へ訳すスピードを意識させる。(無意識化)</p> <p>・スペルのわからない単語や文法的な間違いはあまり気にせずに書かせる。</p> <p>・全体に披露した会話について改善点やよい表現をクラス全体で共有する。</p> <p>・スピーチの内容が分かりにくい場合には補足説明をする。</p> <p>・スピーチ後の質疑応答が活発になるように、前時や他のクラスで出た表現を紹介する。</p>
<p style="text-align: center;">— 学級全体での学び合い —</p> <p>4. 現在完了形のまとめ</p> <p>① 現在完了形の使い方を過去形と比較しながら確認する。</p> <p>② グループに分かれ、ダイアログを考える。</p> <p>③ グループごとに発表する。</p>	<p>・例文を出し、自然な文かどうか確認する。</p> <p>・ダイアログを考えやすくするために場面の状況を細かく説明する。</p> <p>・ダイアログの例を提示する。</p> <p>・ホワイトボードを使用し、そのグループの考えを全体で共有できるようにする。</p>
<p>5. 学習を振り返る</p> <p>現在完了形のイメージを再確認する。</p>	<p style="text-align: center;">— 評価の観点 (思考力・判断力・表現力) —</p> <p>現在完了形を用いて自分の考えを相手に伝えたり、学び合いを通して、表現の幅を広げようとしている。</p> <p style="text-align: center;">【評価方法 発表 ワークシート 観察】</p>